

部品構成表	フライシート×1	屋根フレーム×2セット (アルミ)	エアポンプ×1	キャンピーポール×2 (スチール)	ペグ (スチール)
	ベルト×2	ロープ(長)×2 車体連結用・5M	ロープ(短)×2 キャンピー用・3M	ロープ(装着済み)×4	※サービス品

設営・取扱説明書 当設営・取扱説明書、製品に縫製されているケアラベル、付属のテントオーナーズマニュアル、パッケージ上に記載されている注意事項をよくお読みください。



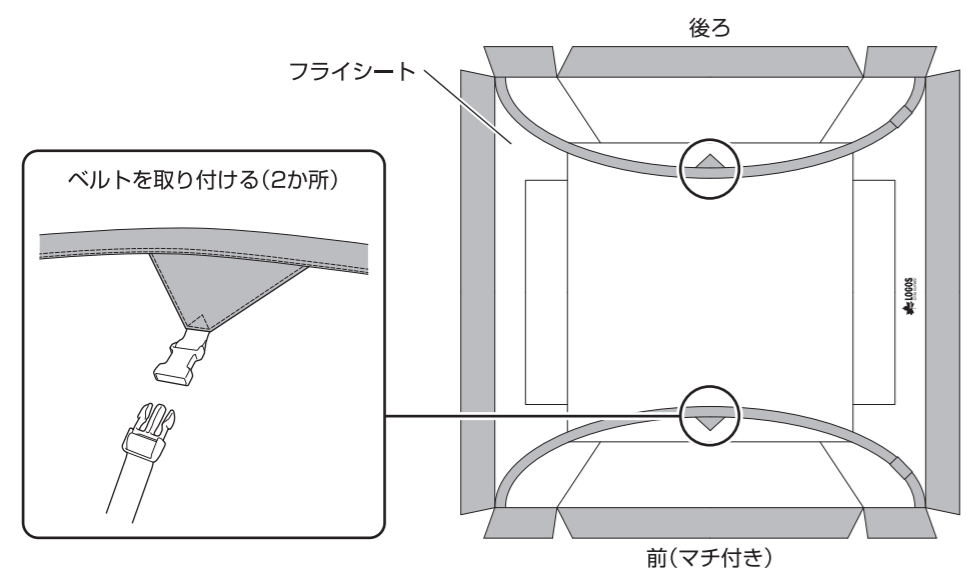
- 注意**
- テント内では、絶対に火気を使用しない。(火災や一酸化炭素中毒による事故のおそれ)
 - 大雨・強風時はテントを設営・撤収しない。(けがや破損のおそれ)
 - 水辺には設営しない。(急な水かさの増量により、重大な事故のおそれ)
 - ペグで地面に固定する。(テント・タープが風で飛ばされ、けがのおそれ)



- 上手な使いかた**
- 内側がコーティングされているため、水に濡らしたり、直射日光が当たったりしないようにしてください。
 - お手入れ時、ベンジンやシンナーは使用しないでください。
 - ランタンハンドルの形状により、S字フックなどの取り付けが必要な場合もあります。
 - 付属のペグはサービス品のため、別売品のご使用をおすすめします。
 - エアポンプは立てた状態で保管してください。(寝かせた状態で長期間放置すると、内部のグリースが外に漏れ出て生地などを汚損するおそれ)

設営方法 ●設営は2人以上で行ってください。 ●風向き、日当たり、水はけなどを考慮して設営位置を決めてください。

1 フライシートを広げて、ベルトを取り付ける



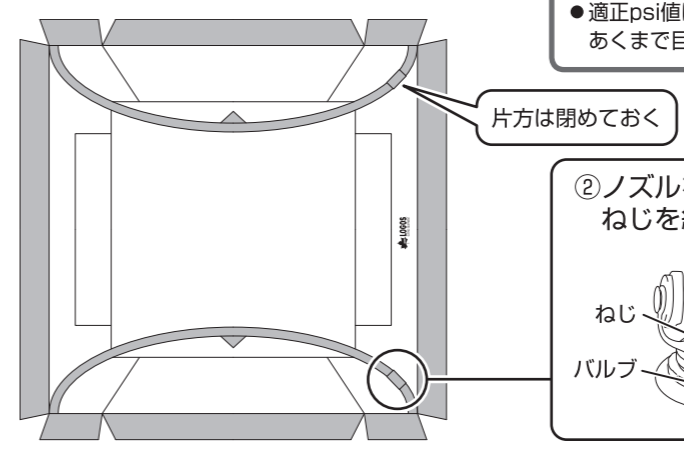
Point

- 車と連結したり、キャンピーポールを取り付けたりする入り口には、ベルトの取り付けは不要です。(ただし、気象状況によっては、ロープとベルトで確実にテントを固定してください)
- 入り口が風下になるようにしてください。



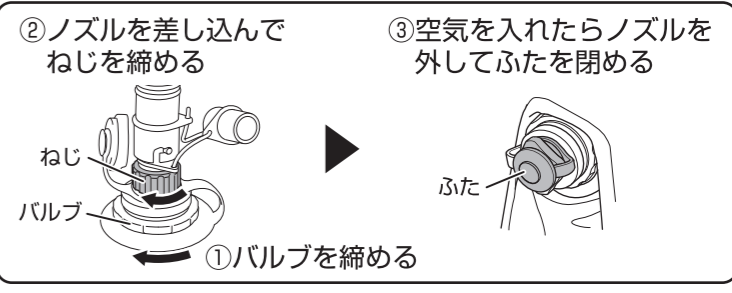
3 エアポンプでチューブに空気を送り込む

- 使用しない空気穴のふたは、必ず閉める。
- ※空気穴(2か所)のどちらからでも、空気を入れることができます。



Point

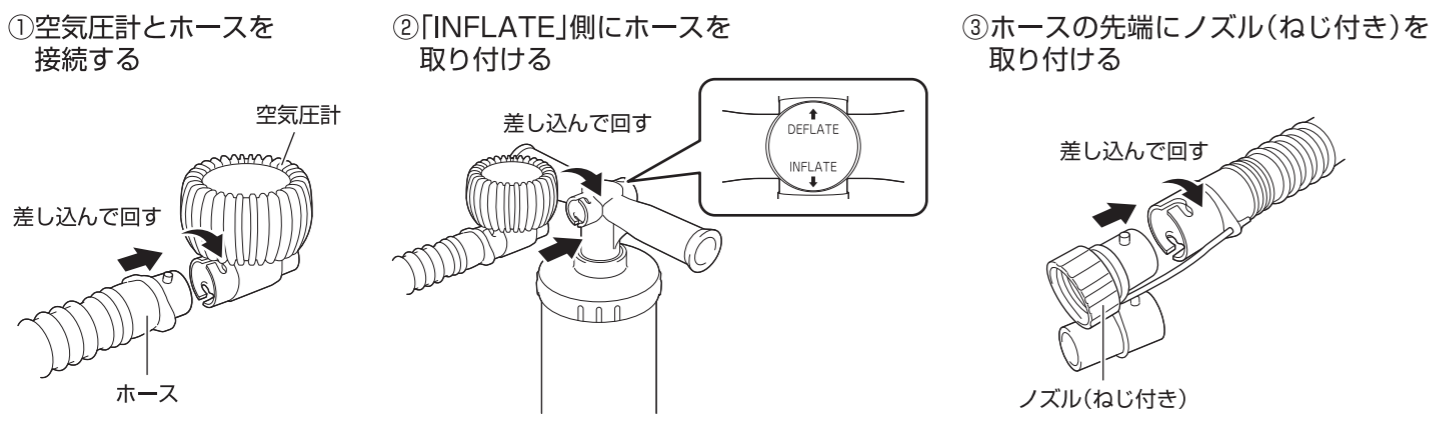
- チューブが折れていると、空気がうまく注入できません。1人が空気を送り込んでいる間、別の1人が内側から屋根を持ち上げてください。
- チューブが9割ほど膨らんだら、指でチューブを押し当てて空気の入り具合を確認してください。指で押すことができなくなったら注入完了です。
- 適正psi値は5~6psiです。(気象状況や標高によって適正値は異なります。あくまで目安としてください)



注意

- 気温が30度を超える場合は、エアチューブへ空気を入れ過ぎないように注意する。(高温で内部が膨張して破裂するおそれ)
- ※気温の上昇が予想される場合は、テントが自立したら注入をやめるなどして調整してください。

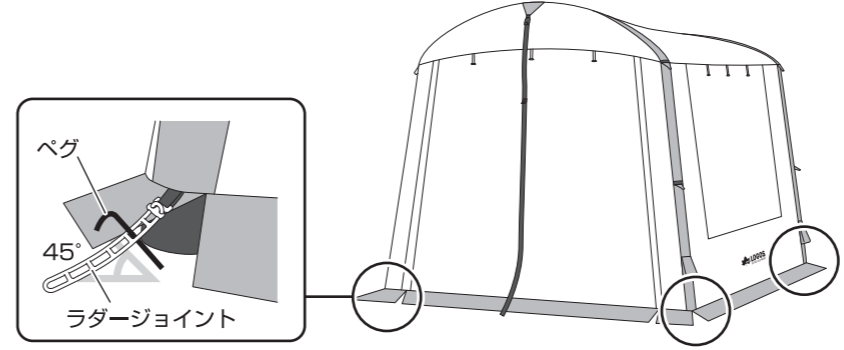
2 エアポンプを組み立てる



※空気を注入するときは、必ず「INFLATE」側にホースを取り付けてください。テントのバルブには空気弁があるため、「DEFLATE」側に取り付けても、テントの空気は抜けません。

4 フライシートの四隅をペグで固定する

- ペグは4か所打ち込む。



Point

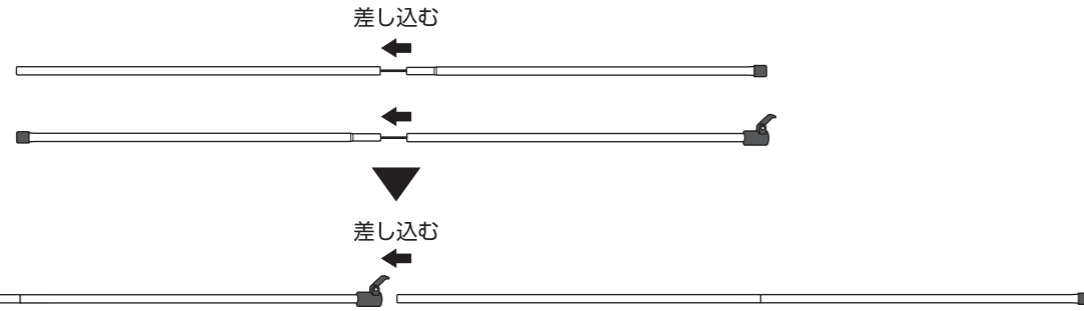
- 連結する車の車高に応じて、ラダージョイントにペグを差し込む位置を5段階で調節できます。
- ※車高が高い場合、連結時にチューブが浮く場合がございますが、ペグが完全に地面に固定できる状況であれば、問題なくご使用いただけます。

(例) 車高が高い場合

続きは裏面を見てください。

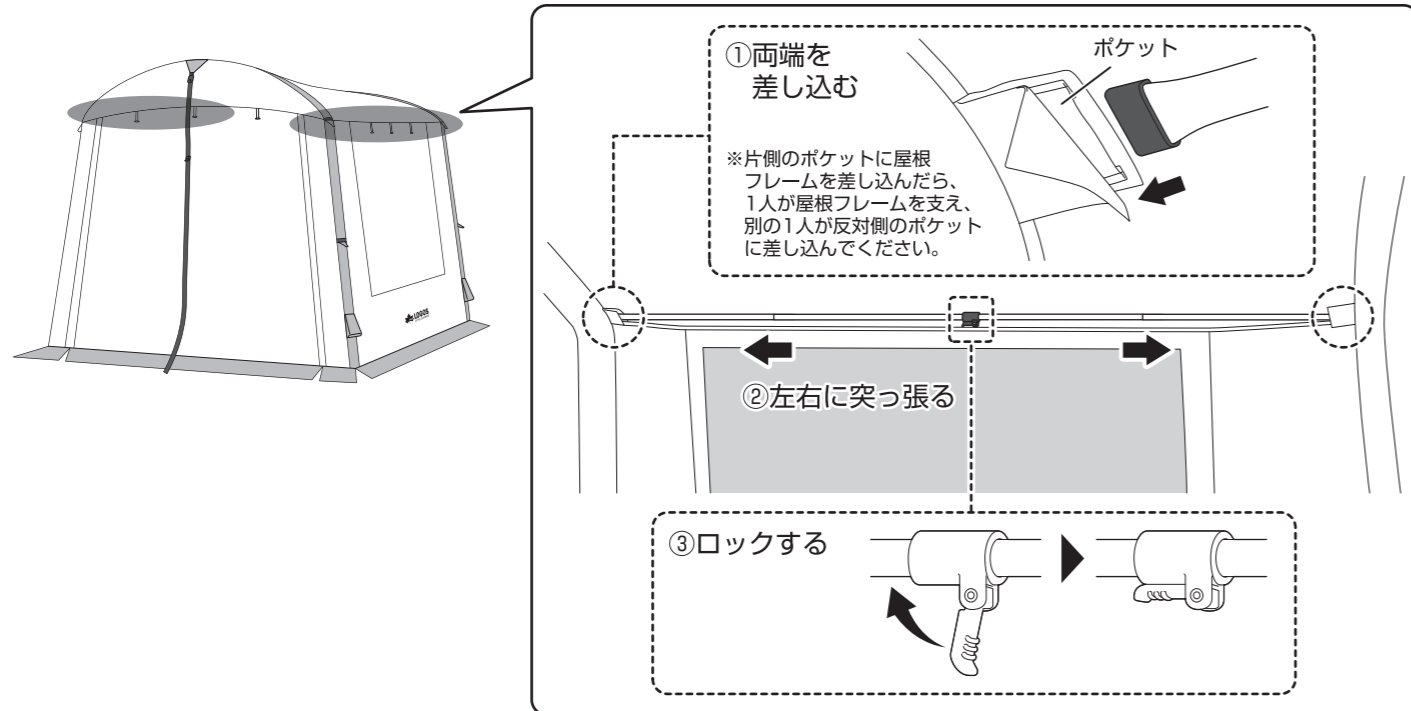
5 屋根フレームを取り付ける

①屋根フレームを連結して組み立てる(2セット)



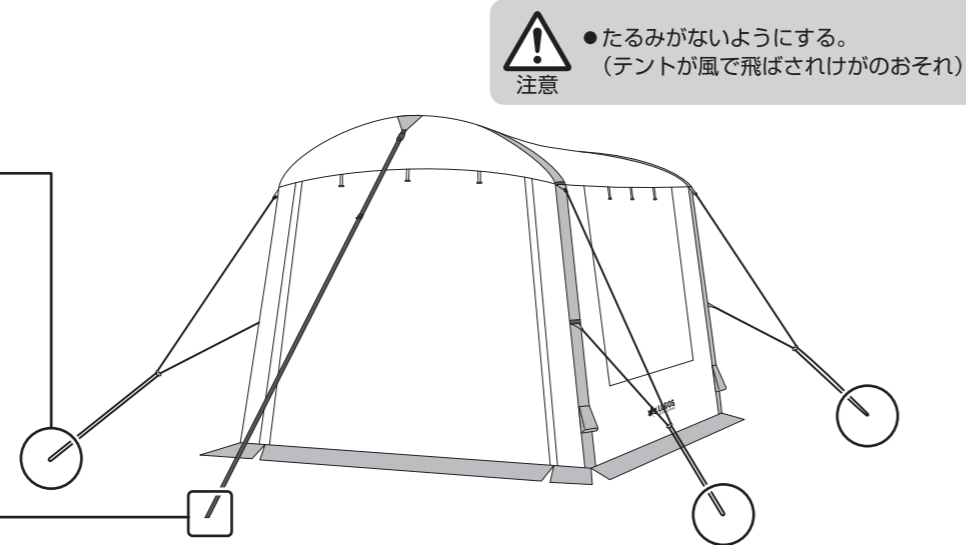
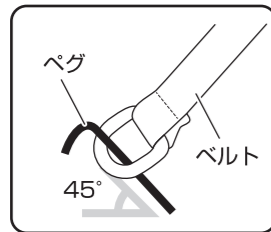
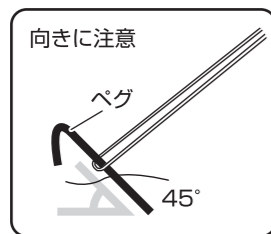
②フライシート内側のポケットに屋根フレームの両端を差し込み、長さを調節する

- ・ポケットに差し込むときは、屋根フレームのロックを解除しておく。
- ・屋根がピンと張るように、屋根フレームを左右に引っ張りながらロックする。



6 ペグで地面に固定する

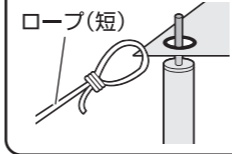
●ペグは6か所打ち込む。



■ 入り口の固定のしかた

【キャンピーポールを使用する場合】

①穴にひっかける



②ペグで固定



入り口を開けるほうのベルトは外しておく

キャンピーポール

【車と連結する場合】

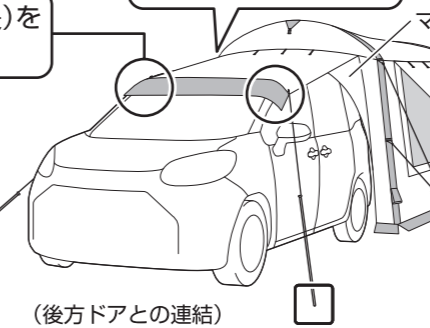
- 前側の入り口と連結する。
- ※前側の入り口のみ、車体と連結しやすくするためのマチがついています。
- 車と連結する側のスタンディングベルトは外しておく。

①ゴムリングにロープ(長)を結び付ける(2か所)

③ペグで固定



②入り口をかぶせる



(後方ドアとの連結)

(サイドドアとの連結)

※車を連結する場合は、事前に車体のサイズを測っておき、テントの入り口に合うかどうかご確認ください。
テント入り口：幅 約170cm、高さ 約185cm
(張り具合によって変動する場合があります)

※連結する車の大きさによっては、ロープが車体に接触し、風雨などの影響で車体に傷がついたりする場合があります。ロープが車体に接触する場合は、間に当て布をするなどの対策を施してください。車体連結時の車体への破損事故については補償いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

撤収方法

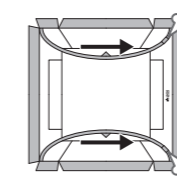
①バルブをゆるめて空気を抜く
(一気にゆるめると大きな音が出ます)



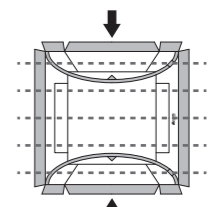
●勢いよく空気が出るためバルブに顔を近づけない。(けがのおそれ) 注意

②ペグを抜く

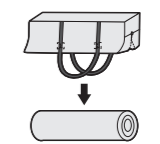
③バルブ側に向かって端からチューブを巻き、チューブに残った空気を抜く(2か所)



④シートを広げて、収納バッグの幅に合わせて折る



⑤収納バッグをかぶせる



⑥エアポンプからホースを取り外して、収納バッグに入れる

Designed by
LOGOS CORPORATION

販売元
株式会社 ロゴスコーポレーション

〒559-0025 大阪市住之江区平林南2-11-13
お客様専用回線 ☎0120-654-219 (受付時間: 平日10時~17時迄)

■ホームページ / www.logos.ne.jp

■全国キャンプ場の空き情報 / www.campjo.com

- 最新の情報は商品ページをご覧ください。
- 廃棄は、お住まいの地域のごみ分別方法にしたがってください。
- 製品の仕様は予告なく変更する場合があります。

商品ページ▶



2023/04 HT